

## 2017年10月14日開催第33回千葉高同期会ゴルフコンペ報告

東金の新千葉カントリークラブつくもコース(恵藤幹事のホームコース)にて上記コンペが開催されました。

本コンペは宿泊先の予約の関係で当初の開催予定日がやむなく変更になったことや、参加予定者の思わぬ怪我をはじめ諸々の事情による欠席が相次いだことにより、参加者数は7名と低調でした。そのうえ、雨模様の天気予報や清水君の筋肉痛からくる引き気味の声が重なり開催自体が危ぶまれましたが、最後に当クラブに到着した天気当ての天才、和気君の「やる！」の一声が決め手になり、結果、終日傘をさすこともなく行うことができたのは幸いでした。

かくして、優勝経験者6人に対し優勝未経験者がただ1人(姉帯君)というコンペ構成となり、悲願の？ハンディリセット(2回目の優勝者が出ればリセット)の可能性濃厚な試合が展開されました。

はたして、実力派の1人である清水君がハーフでリタイアという事態に加え、優勝候補筆頭ポジションの姉帯君もあえなく失速したこともあり、自他ともに認める実力派の小川君がシングルハンディにして優勝[NET79, HC6, GROS85(42,43); ベスグロ ], 準優勝は水島[NET79; 同ネット, HC13, GROS92(48,44)]. ブービー賞は和気君、それに今回も定位置は譲れぬとみごとBメーカーをゲットしたのは恵藤君、そしてニアピン賞は川上、水島となりました。というわけで、本コンペは今後各自のハンディがリセットされる新たな領域へと突入することになりました。

試合後は参加者全員、九十九里の国民宿舎「サンライズ九十九里」へと向かい、“19番ホール”から4名(鴨山永世名誉幹事をはじめ、伊原君、植草君、宍倉君)が合流し計11名で成績発表・宴が始まりました。さすがに良質の海の幸豊かなバイキング料理は美味しく、宴会も“ハンディリセット”で大いに盛り上がりました。しかし、飲み放題1時間の制限のため飲み足らず、宴会場を後にして一部屋に雪崩込んでの宴も鴨山幹事からの酒の提供を得てさらに勢いを増し、深夜0時を超えてもなお炎上していたありさまでした。

それにしてもハンディリセットは、実に約15年ぶりとのことですのですごい記録ではないでしょうか。これまで年2回計30回余りの開催期間で2回優勝した人が出ず、ハンディの多寡にかかわらずみごとに順繰りに優勝してきたというまぎれもない事実！このハンディシステム(平たく言えば優勝未経験で入賞以外の人のハンディが一定の法則のもとに若干軽減される)を考えた鴨山様は全く見かけによらず神がかっているといっても過言ではありません！

ともあれ今回のコンペは、プレー自体の参加者こそ少ない人数でしたが、歴史に花を添える？内容の濃さもあり、宴会だけの参加者数も過去最多で、元気な高齢者の小集団が深夜1時すぎまで飲んで騒いでいるという、総じて異例づくめの会であったかもしれません。

なお、鴨山幹事より次回は、来年春4月21日第3週土曜日を予定しているとのことです。(村田君が欠席のため、代わりに水島が記録を仰せつかりました。)